

令和7年度自己点検・自己評価調査結果

1. 自己点検・自己評価の目的

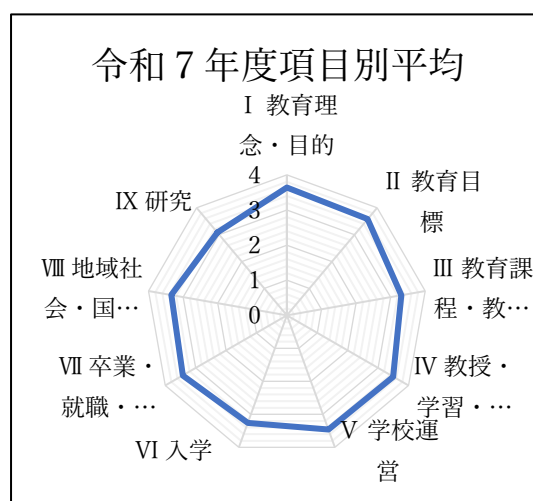
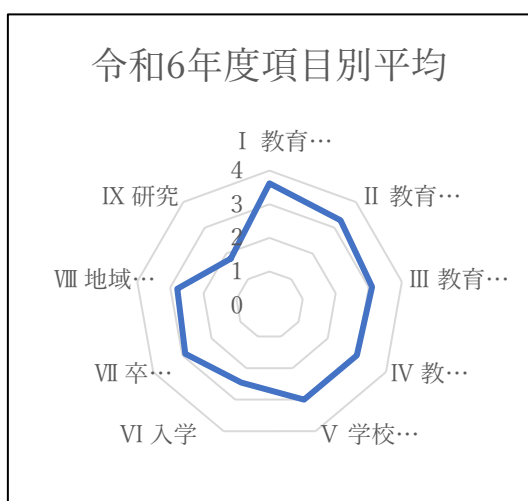
JA 北海道厚生連旭川厚生看護専門学校の教育理念に沿った教育水準の向上を図り、外部からの意見を聴取し、今後の学校運営に寄与することを目的とする。

2. 令和7年度自己点検・自己評価

1) 方法

厚労省の指針に基づいて、令和7年度（2025年度）2月に本校教職員27名を対象に自己点検・自己評価を実施しました。評価は4段階評価とし「当てはまる」を4、「やや当てはまる」を3、「あまり当てはまらない」を2、「当てはまらない」を1として得点化しました。

2) 結果



2025年度	カテゴリー	項目数	平均点（前年度）
I	教育理念・目的	5	3.64 (3.62)
II	教育目標	3	3.58 (3.29)
III	教育課程・教育活動	18	3.31 (3.1)
IV	教授・学習・評価課程	11	3.50 (3.0)
V	学校運営	18	3.46 (3)
VI	入学	2	3.26 (2.46)
VII	卒業・就職・進学	4	3.42 (2.9)
VIII	地域社会・国際交流	5	3.34 (2.79)
IX	研究	1	3.08 (1.8)

令和7年度の全体平均点は、3.42点（2.92）点であった。平均点より低値であったカテ

ゴリーは4つあったが、平均点が3点未満のカテゴリーはなかった。

令和7年度の重点課題として以下の3点を挙げていた。

(1) 教員の質の向上と教育力の向上

教員間の連携を図り、学校の業務、講義、演習など授業評価等を活用し互いに学び合う

(2) 健全な学校運営の実施

自己点検・自己評価・学校関係者評価の充実

積極的な学生募集活動の実施、市内高校への授業

教務内の情報共有と連携

業務の効率化の推進

(3) 厚生連地域医療に貢献できる人材の育成

卒業生の動向調査の実施し教育課程の評価の実施

学習支援活動の充実

(1) (2) について

項目別では、前年度2点台が17項目あったが、2項目を残し3点台へ上昇した。

2点台の項目：カテゴリーⅢ「教育課程 教育活動」

①Ⅲ-11「教員が専門性を発揮できるように、時間数を配分している」2.75 (2.6)

②Ⅲ-12「教員が授業準備のための時間をとれる体制を整えている」1.92 (1.5)

各教員の授業時間、実習担当等はキャリア年次や役割を鑑みて分担し、可能な限り学内で授業準備の時間が確保できるように配分しているが、臨地実習指導体制を強化していることもあり時間の確保が困難な状況は続いている。前年度よりも教員経験が豊富な人材は減少したが、評価の著しい低下はみられず、むしろ若干の上昇があったことから協力体制や一定の取り組み評価はみられたと判断したい。今後も授業研究・カリキュラム評価委員会と連携し、体制の整備を続けたい。

(3) について

関連する項目については上昇がみられ、すべて平均3以上となった。

18才人口の減少により、入学定員が満たない状況が続いている。高校の進路指導担当教員からは、複数の高校で医療職離れの現状を突き付けられている。高校の進路決定以前に小中学校や広報活動強化による学校・職種の魅力を発信することは重要と考える。

3) 令和8年度重点課題

(1) 教員の質の向上と教育力の向上

教員間の連携を図り、学校の業務、講義、演習など授業研究（評価）等を活用し互いに学び合う

(2) 健全な学校運営の実施

自己点検・自己評価・学校関係者評価の活用

積極的な学生募集活動の実施、市内高校への授業・中学校職業教育への協力

教務内の重点課題を意識した情報共有と連携・業務の効率化の推進
広報活動の強化

(3) 厚生連地域医療に貢献できる人材の育成

卒業生の活用による教育活動の充実

学習支援活動の継続と充実

地域医療の魅力に触れる機会・場面作りの強化